

平成30年度事務報告書の作成に当たって

この事務報告書は、市民に分かりやすい資料とするため、下記により掲載内容の平準化を図ることで、内容の統一性を持たせるよう作成しました。

1 他の決算に関する資料との連携を図る観点から、部署ごとに歳入歳出決算事項別明細書（以下「決算書」という。）の歳出の順で編集してあります。

なお、決算額に対応しない事務事業は、その後に掲載してあります。

2 各部署が実施した事務事業ごとに、その事務事業の概要を簡潔に説明してあります。

3 事務事業の実施結果は、一目性の観点から、表形式で整えるよう努めました。

4 事務事業の項目ごとに、予算科目（款・項・目）及び歳入歳出決算事項別明細書歳出の備考欄（説明欄）の該当ページを記載してあります。

なお、予算科目が多岐にわたる事務事業については、予算科目を省略してあります。

5 各会計の表示は、次のとおりです。

(1) 一般会計は、予算科目のみ記載してあります。

(2) 特別会計は、予算科目の下段に、該当する会計名を記載してあります。

6 文体は、常体（である体）を基調とする口語文の文体を用いています。